



2022年11月10日

各位

会社名 太平洋セメント株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 不死原 正文  
 (コード番号 5233 東証プライム市場、福証)  
 問合せ先 総務部長 久我 親雅  
 (TEL 03-5801-0334)

繰延税金資産の取崩し、2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異  
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）において、繰延税金資産102億円の取崩しを行いましたので、お知らせいたします。

また、2022年8月9日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）の業績予想と比較して、本日公表の決算において下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

さらに、最近の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期の業績予想を以下のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想との差異（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	380,000	△2,800	△2,500	△5,700	△48.70
実績値 (B)	375,982	△313	△84	△16,455	△140.58
増減額 (B-A)	△4,018	2,487	2,416	△10,755	—
増減率 (%)	△1.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	339,798	25,812	26,578	19,485	163.92

2. 2023年3月期通期の業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）  
 (連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	854,000	32,000	31,500	18,500	158.05
今回修正予想 (B)	844,000	13,000	13,000	△16,000	△136.69
増減額 (B-A)	△10,000	△19,000	△18,500	△34,500	—
増減率 (%)	△1.2	△59.4	△58.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	708,201	46,701	50,193	28,971	245.80

(個別)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	351,000	14,000	14,000	119.29
今回修正予想 (B)	334,000	△2,000	△17,000	△144.85
増減額 (B-A)	△17,000	△16,000	△31,000	—
増減率 (%)	△4.8	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	287,525	30,551	22,524	190.59

### 3. 業績予想との差異及び業績予想修正の理由

#### (1) 第2四半期累計期間の業績予想との差異

営業利益、経常利益につきましては、固定費の削減及び一部の連結子会社の損益改善等により前回発表した予想を上回りました。

一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、繰延税金資産の取崩し等により前回予想を大幅に下回りました。

#### (2) 通期業績予想の修正

(連結)

営業利益、経常利益につきましては、国内におけるセメント販売価格の値上げの進捗遅れ及びセメント製造原価の上昇並びに米国におけるセメント工場の大規模修繕の長期化等により、前回予想を下回る見通しです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益、経常利益の減少に加え、繰延税金資産の取崩し等により、前回予想を大幅に下回る見通しです。

(個別)

経常利益につきましては、国内におけるセメント販売価格の値上げの進捗遅れ及びセメント製造原価の上昇等により、前回予想を下回る見通しです。

また、当期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、繰延税金資産の取崩し等により、前回予想を大幅に下回る見通しです。

※上記の記載した予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上